



相原 章会長 尾崎 康幹事



第2770地区 第1グループ

## 浦和中ロータリークラブ

2020-2021 クラブターゲット

「発見、創造、魅力あふれるクラブに！」

— 組織を創る 仲間を創る 明日を創る —



ロータリーは  
機会の扉を開く

### 今日の例会

11月5日（木）第1429例会

例会時間：19：00点鐘

例会場所：さいたま商工会議所会館 2階第一ホール

卓話者：ロータリー財団部門委員長 小宮 泰二 様

テーマ：『財団の活動』

### 次の例会

11月15日（日）第1430回例会

例会時間：12：30点鐘

例会場所：川口総合文化センターリリア メインホール

講師：特定非営利活動ジャパンハート最高顧問 吉岡秀人様

テーマ：『R I 第2770地区 地区大会』

### 会長挨拶

会長 相原 章



皆さん今晚わ。10月第5例会にご出席いただきありがとうございます。本日は、山崎会員のご紹介により、鉄道紀行作家「田中正恭様」をお招きしての卓話例会です。田中様、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、本日は鉄道に関するお話ということで、鉄道といえば旅、旅といえば、やはり温泉でしょう。私もさすがに毎週温泉というわけにはいきませんので、GoToトラベルキャンペーン第8弾は次週お話しすることとして、鉄道で行く温泉第1位をご紹介いたします。秋田から青森方面に日本海を北上する五能線という列車があります。世界遺産である白神山地を車窓から望み、左手に奇岩が続く日本海を眺めながらの鉄道の旅、まさに絶景です。この路線には「リゾートしらかみ」という特急が走っていて秋田から2時間ちょっとで、この田舎には似つかわしくない「ウェスパ椿山」という駅を目指す「黄金崎不老不死温泉」があります。冬の荒波が押し寄せる日本海を目の前に、抹茶色の混浴露天風呂があって、まるで暖かい海に入っているのではないかと錯覚するほどです。遠く水平線に沈んでゆく冬の寂寞とした夕陽を眺めていると、思えば遠くへ来たもんだ、結構長いこと人生歩いてきたなあ、と来し方行く末をゆっくり考えられる、極めて贅沢な時間を過ごすことができます。

ところで人生はよく旅に例えられます。どんなに青春時代が楽しかったとしても、どんなに今が一番良かったとしても戻ることにはできず、立ち止まることもできません。時はどんどん流れていきます。私のロータリー会長の旅も1/3が終わろうとしています。この間、雨の日、風の日、曇りの日、晴れた日は少ないかもしれませんが、それでもそんなことは気にすることなくゴールまで旅を続けます。それも特急列車の旅ではなく、各駅停車の旅を楽しみたいと思います。

以上、本日の会長挨拶とします。



### リモート出席者



伊田賢一 会員

吉岡淳一 会員

### 幹事報告 幹事 尾崎 康

・例会終了後、奉仕プロジェクト委員会開催

” 30周年実行委員会開催

10月30日(金) 17時開演

・第1回オンラインRLI パート I 開催

11月28日(土) 9時開会

・地区大会開催 11月15日(日)12時着席  
(川口総合文化センターリリア・メインホール)



### 委員会報告

#### 戦略計画委員会 小宮委員長

10月26日、戦略計画委員会を開催し、ビジョン声明に基づき、5年後のクラブを見据えて、圧倒的に秀でるクラブづくりを目指すことを再確認しました。



卓話者の田中様を  
囲んでの有志による  
懇親会の様子



本日司会の  
梶間会員！

# 『一度は乗りたい！特選・ローカル線の旅』

鉄道紀行作家 田中 正恭 様



線路は続くどこまでも♪  
2本の線路に身を任せ、  
旅の空の下へ夢が広がっていく...  
そこには、見知らぬ土地の風景、  
風物、人との出会いが待っている...



## 日本全国・特選ローカル線 10

- ① J R 富良野線 (北海道) …十勝岳連峰と美瑛の丘を走るトロッコ列車
- ② 三陸鉄道リアス線 (岩手県) …津波禍を乗り越え、復活した奇跡の鉄道
- ③ J R 陸羽東線 (山形県～宮城県) …紅葉の奥の細道湯けむりライン
- ④ 江ノ島電鉄 (神奈川県) …最も身近なローカル線、訪れるなら平日早朝
- ⑤ 富士急行 (山梨県) …富士山に最も近大きく見えるローカル線
- ⑥ 北条鉄道 (兵庫県) …素朴な仏の里を訪ねる小さな旅
- ⑦ 錦川鉄道 (山口県) …錦川の絶景を見ながら
- ⑧ とさでん交通・軌道線 (高知県) …南国土佐をのんびりと
- ⑨ J R 肥薩線 (熊本県～鹿児島県) …球磨川の絶景の中をS Lが走る…豪雨のため不通
- ⑩ J R 日南線 (宮崎県～鹿児島県) …日南海岸と肥沃杉の中を走る



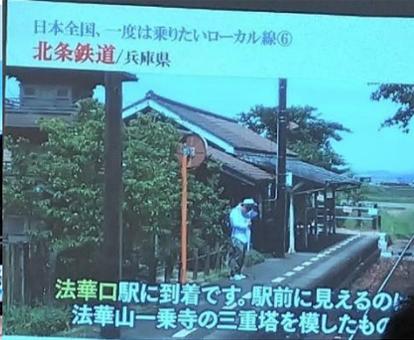
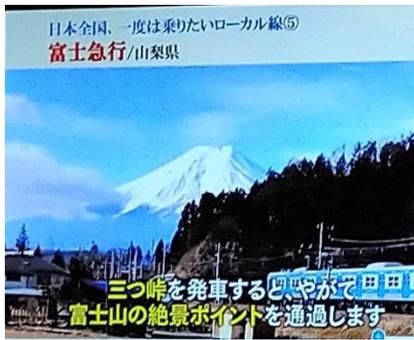
## まとめ

モータリゼーションの発達と、少子化や地方の過疎化によってローカル線が次々と廃止されている。無人となった原野や廃坑になった炭鉱線ならやむを得ないが、鉄道が廃止されて栄えた町は1つもない。一度廃止されたら二度と元には戻らない。

定時制、安全性、大量輸送、エネルギー効率…すべてにおいて鉄道に勝る交通機関はない。

その利点を生かすべく、安易に放棄せず、できる限り地域のために走り続けて欲しい。

機会を見つけて、是非、列車の旅を！



「編集後記」 今週の例会は、山崎会員の紹介による鉄道紀行作家 田中正恭様の卓話であった。コロナ禍の最中、中々旅行には行けない中、旅行気分を味わわせてくれるとても楽しい例会であった。それにしては山崎会員の顔の広いのを見せられるのは、今回に始まった訳ではないが、山崎会員は、つくづく中ロータリーに必要な存在だと思う。これからも宜しくお願いします。(T・K)

会長：相原 章 会長エレクト・幹事：尾崎 康 クラブ管理運営・プログラム委員長：三島 泉  
親睦委員長：市川浩正 会員研修委員長：辻村浩司 研修リーダー：小谷野英一 公共イメージ向上委員長：小嶋敏夫  
出席報告 10月29日(木)第1428回例会

会員総数(免除)	39(4)名	本日の出席率	94.29 %
出席算定	33/35	メイクアップ	5
本日の出席	28		

例会日：毎週木曜日 19:00～20:00  
例会場：さいたま商工会議所会館 2階 第1ホール  
事務局：さいたま市浦和区高砂3-17-15  
さいたま商工会議所会館 7階  
TEL:048(838)7740 FAX:048(838)7741  
ホームページ http://urawa-naka-rc.org